

ケアネットせとうち通信

安心して暮らせる地域を目指して



団塊世代（約800万人）が75歳以上となり、総人口の5分の1を占める2025年（平成37年）以降は、国民の医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれています。このため、厚生労働省においては、2025年（平成37年）を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、「医療」「介護」「介護予防」「住まい」「生活支援」の分野が一体的に提供される地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進しています。



「地域包括ケアシステム」をご存知ですか？

瀬戸内市在宅医療・福祉・保健連携推進協議会
愛称名【ケアネットせとうち】

瀬戸内市では、平成25年6月に「瀬戸内市在宅医療・福祉・保健連携推進協議会」（ケアネットせとうち）を設置し、年4回の会議を開催しています。

この会議は、医師会・歯科医師会・薬剤師会等の医療関係、介護福祉事業関係者、保健所等の保健事業関係者の代表者16名の委員で構成され、多職種が連携して医療と介護の切れ目ない支援体制を構築するため、地域の課題に対する解決方法の検討や情報共有、ネットワークづくりを行い、「笑顔で長生きるまち」を目指しています。



〔平成28年度 第4回 瀬戸内市在宅医療・福祉・保健連携推進協議会の様子〕

また、この協議会において、平成27年3月に、『瀬戸内市地域包括ケア実行計画』を策定し、地域の課題から重点項目として、①在宅で安心して最期を迎えられる仕組みづくり ②認知症対策 ③糖尿病対策 ④がん対策 の4項目について、専門職、関係機関、行政が協働で取り組みを行っています。

研修会や活動内容については、ケアネットせとうちのホームページをご覧ください。医療・介護に係る地域資源の情報も掲載しています。

ケアネットせとうち



で検索!!

在宅医療・介護連携推進事業の活動報告

瀬戸内市民生委員・児童委員、主任児童委員の皆さんと
「地域包括ケアシステム」について学びました。

とき：平成29年2月24日(金)



【講演】「地域包括ケアシステムとは？～これからの街づくりを考える～」

【講師】NPO法人岡山県介護支援専門員協会（ケアマネジャーの会）会長 堀部 徹氏

【行政説明】「瀬戸内市介護予防・日常生活支援総合事業について」

【講師】瀬戸内市保健福祉部いきいき長寿課 主査 藤原 敬士

【参加者からの感想】

*今後の活動において大変勉強になりました。

*民生委員同志で話し合いをすると、身近な問題が起きている事へのアドバイス、ヒントがあるのではないのかと思います。



『トータルサポートセンター』（ケアネットせとうち事務局）ご利用案内

【相談内容】

医療・福祉・保健等に関する総合的な相談を受け、多職種連携で支援を行います。相談料は無料です。

【相談対応職員】

保健師・社会福祉士

【相談時間】

午前8時30分～午後5時15分
(土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く)

【所在地】

岡山県瀬戸内市邑久町山田庄845番地1
(瀬戸内市民病院 1階 玄関南側)

【電話番号】

(0869) 22-3800

【ファックス番号】

(0869) 22-3801



地域への出前講座を始めました

地域のサロン等の集いにうかがい、在宅医療や介護を推進するため『ミニ講座』を行っています。講座のテーマは、「かかりつけ医のススメ」・「新しい市民病院の機能と役割」等です。講座を希望される方は、お気軽にご連絡ください。